

人

インタビュー

HUMAN INTERVIEW



ふじかわあきな
豊明高等学校講師
社会人クラブチーム「壱 (ウノ)」に所属
豊明高校卒業



ディスクを使った究極のスポーツ

藤川明奈さん

ヒュンと風を切り飛んでくるロングパスのフライングディスクに飛びつきキャッチ。一度は目にしたことある円盤型のfrisbeeが、バスケットボールやラグビーのようなスポーツになって目の前で繰り広げられている。今回の人インタビューは、7月13日に大阪府堺市で行われた、フライングディスクの団体競技であるアルティメットの世界選手権ウィメン部門で優勝、日本チームの中心選手として活躍した藤川明奈さんにお話を伺いました。

藤川さんとアルティメットとの出会いは、豊明高校に在学していた時に偶然授業で行ったことだそうです。その後教員を目指し大学に進学し、そこでアルティメットのサークルに入り、珍しさで高校在学中にやっていたハンドボールと似通うところがあることから、本格的に打ち込み始めました。

ところで、このアルティメットとはどんな競技なのか。まず使う道具がボールではなく円盤型

のフライングディスクで、投げ方により滞空時間を調節したり、風の影響を受けやすいことがあります。そのディスクを、素早い動きやパスで相手陣地内の得点エリアでキャッチできれば、得点となります。この競技には、スピード、持久力、ディスクのコントロール技術など、フライングディスクの全ての要素が集約されているため、その名の通り究極という言葉の英訳のUltimate^{アルティメット}が競技名となっています。

藤川さんはこの競技の面白さを「力や瞬発力も必要ですが、何より作戦に頭を使うところなんです。」と話します。また「スポーツでは珍しく審判がいないので、自己判断で反則を申告しなければいけない紳士的なスポーツなんですよ。」とも教えてくれました。

当面の目標は、「四年後に行われるナショナルリーグで連覇すること。今まで常勝チームだったので、アメリカを今年破ったので、相手もさらに研究してくるでしょう。」と四年後の試合を見据え闘志を燃やしていました。

最後に「まだまだマイナースポーツですが、今年日本で世界大会が行われたことで、競技人口が増えれば」と藤川さん。これからもディスクを追い続けます。

